



感染症サーベイランスオフィサープログラム (Surveillance Officer Program/SCOP)

プログラムの目的

自治体において感染症サーベイランスを有効に活用するために、データの収集から分析・還元までの一連の流れ（サーベイランスループ）を習得して「サーベイランスオフィサー」として活躍できる専門的人材を育成して、ネットワークを広げていきます。

プログラムの到達目標

サーベイランス基礎知識の習得：感染症サーベイランスの意義と仕組み

データ収集・整備技術の習得：報告システムと検査データの取扱い

異常検知と対応の演習：疫学的手法によるサーベイランスアラートの習得

情報還元：データの視覚化、報告書の作成

ネットワーク構築：サーベイランスオフィサーをハブとしたネットワーク

プログラム開始時期：2025年11月～12月の2週間（予定）

2026年1月19日（月）～1月30日の2週間（予定）

※プログラムの準備等により年明けの開講を予定しております。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

研修形式：ハイブリッド（オンライン+オンサイト：国立感染症研究所ほか）

対象者：原則として自治体職員（感染症サーベイランス担当または興味のある方）

募集人員：50 名

プログラムスケジュール（予定）

日程	内容
1 週目 講義形式	●感染症の基礎知識 ●感染症サーベイランスの基礎知識 ●感染症法と発生動向調査 ●感染症におけるサーベイランス各論（呼吸器、消化器、STD、AMR、VPD）
2 週目 講義形式、見学・実習	●災害時の感染症サーベイランス ●データ解析とリスクコミュニケーション ●ケーススタディ ●パネル討論

参加申込：指定フォームよりお申し込み下さい。10 月下旬にご案内する予定です。

お問い合わせ：国立感染症研究所 感染症サーベイランス研究部情報管理研修室

担当：稲葉秀子、神垣太郎  scopout@nih.go.jp ☎ 03-5285-1111